

## Column

—大丸有の緑地紹介—

# ホトリア広場



人・環境・生きものをつなぐ「交流の森」



「ホトリア広場」は皇居外苑濠に隣接する、広さ約3,000m<sup>2</sup>の緑地広場。皇居の緑とつながるようクスノキやクヌギを主体に構成されており、樹々の間を縫うように小川が流れ、緑と潤いのある景観と癒しのムードを生み出しています。また、多くの生きものすみかとなるような工夫が凝らされているのも、この広場の大きな特徴。企業・行政・NGO・専門家らと連携し、皇居外苑濠の生物多様性の保全や復元に取り組んでいます(濠プロジェクト(2018年から))。環境省が2023年にスタートした「自然共生サイト(※)」にも認定されるなど、オフィス街にありながら、生きものたちとのつながりを感じられる空間です。

※「自然共生サイト」とは「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定する区域のこと。

### ●イチオシSpot



緑に囲まれた「ベンチ」



緑豊かな場所を選び、ベンチを設置しています。小川のせせらぎが聞こえる深い緑の中のベンチ。木陰が心地よい、夏でも涼しく過ごせそうなベンチ。奥まった場所にあり、歩行者を気にせず落ち着いて過ごせるベンチなど。親子で使いやすいベンチもありますよ。ほっと一息つける、お気に入りのベンチを見つけてみて♪

## お申し込み注意事項

### <申込期間>

定員になり次第受付を終了いたします。

### <注意事項>

- 天候等により、やむを得ずプログラムの中止や一部内容を変更して実施する場合がございます。
- プログラム中止・変更の際は、各プログラム開催日の前日15:00までにご連絡を差し上げます。予めご了承ください。

## プログラム詳細・お申し込みはこちら

シゼンノコパン



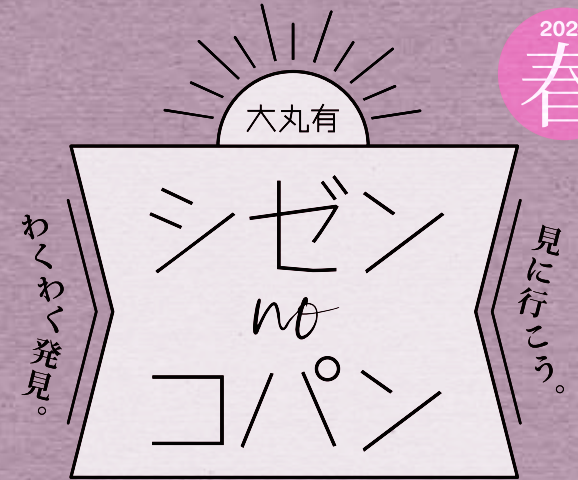
共催 東京建物株式会社、三井物産株式会社、三井不動産株式会社  
三菱地所株式会社、エコツヅェリア協会

お問い合わせ先 エコツヅェリア協会(大丸有シゼンノコパン担当) contact\_env@ecozeria.jp

※ 東京建物、三井物産、三井不動産、三菱地所の4社は「大丸有エリア生物多様性連絡会(事務局:エコツヅェリア協会)」を組成し、生物多様性に配慮した質の高い都市の緑のネットワークを形成に向けて取り組んでいます。

# 大丸有でつながる アウトドアイベント

2024  
春



新しいコト。



さえずりくん

4/24 [水]

春のミツバチを  
「観る」

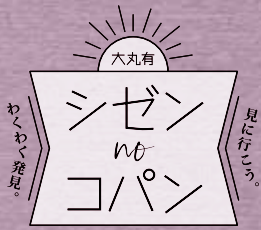
5/19 [日]

飛び集う虫や  
鳥を「視る」

6/9 [日]

葉っぱや花の  
かたちを「愛る」





# ソトへ出よう。 ソトを知ろう。

同じ場所で見ているのに、  
見る人によってぜんぜん見え方が違う自然。  
スペシャリストと共にいつものまちへ出かけると、  
いままで気づかなかった自然が  
あなたの目の前にきっと現れます。

大丸有でつながるアウトドアイベント  
シゼンノコパン(『コパン』は伝語で『友達』)は、  
皇居からつながる、大丸有(大手町・丸の内・有楽町)の  
自然を通じて、人と人、人とまちがつながり、  
新しいコトを見つける場です。



プログラム詳細・お申し込みはこちら →

## 4/24(水) 春のミツバチを「観る」 ～どこのどの花、キミは好きなの?～



時間 【朝活】7:30～8:30 ※小雨決行・荒天時は中止

集合場所 丸の内ブリックスクエア 一号館広場 参加費 ひとり500円

対象 中学生以上 定員 25名 ゲスト 石井 誠治(樹木医)



丸の内ではビル屋上で養蜂を行い、採れたハチミツを飲食店などの商品に使っています。半径約4キロを蜜源に生きるミツバチにとって、街路樹などの緑豊かな大丸有エリアは絶好の生息地。彼らは実際、どこのどんな植物から花粉を集めているのでしょうか?出勤前のひと時、ミツバチになったつもりで三菱一号館美術館前の広場から丸の内・有楽町エリアを知識豊富な石井さんとともに散策し、プランターや足元の花に集まるミツバチとの出会いを楽しみませんか。

## 5/19(日) 飛び集う虫や鳥を「観る」 ～飛んでくるにはワケがある～



時間 10:00～12:00 ※小雨決行・荒天時は中止

集合場所 3×3Lab Future 参加費 ひとり500円 対象 小学生以上の親子限定

定員 親子25名程度 ゲスト 佐藤 真人(NPO法人生態教育センター インタープリター)



大きな道路に断断され車や人々が行き交う街の緑地では、“飛ぶ”生きものがよく見られます。花々には花粉や蜜が目当てのハチやチョウ、水辺には産卵のためにトンボが飛来し、水浴びをしようと小鳥たちも訪れます。大手町の森、Otemachi One Garden、ホトリア広場を巡り、飛び集う生きものたちを、その目的に思いを馳せつつ見つめます。クイズやゲームなどを交え、みんなで楽しく観察を!生きもの探しのコツも伝授しますヨ!

## 6/9(日) 葉っぱや花のかたちを「愛る」 ～見方を知って6月の植物を楽しむ～



時間 13:00～15:00 ※小雨決行・荒天時は中止

集合場所 3×3Lab Future 参加費 ひとり500円 対象 中学生以上

定員 20名 ゲスト 鈴木 純(植物観察家/植物生態写真家)



葉っぱや花の“かたち”を見て名前を調べるのが、植物観察の第一歩。その基本をおさえ、大手町の森、Otemachi One Garden、ホトリア広場を巡る初心者向けの観察会です。6月は1年で最も葉っぱがイキイキしている季節。前半は主に葉っぱを観察し、後半は花に注目して植物の生態を観察します。自由に移動できない植物は虫などの生きものどう関わり、命を繋いでいるのでしょうか?3緑地で見つけた植物の“かたち”を、まずはじっくり見比べましょう。